

市報 やまぐち

2011

7/1

July
No.138

WEB サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

携帯サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>

e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp



おいでませ! 山口国体

あと 92 日

おいでませ! 山口大会

あと 113 日



森林を生かす。P2
災害に備えましょう P4

地域のブランドを守る
「あとう和牛」肥育再開

森林を生かす。

―豊かな自然を次世代へ引き継ぐために―

森林は、林業や農業などの経済活動の場であるとともに、地球温暖化防止や国土保全の観点からも多様な機能を有しています。本市は総面積の約8割が森林に覆われ、平安時代末期には重源上人が、奈良東大寺再建のため用材として徳地地域から巨木を調達した、森と深い関わりのあるまちです。

今年、国連が世界中の森林の持続可能な経営・保全の重要性への認識を高めることを目的に定めた「国際森林年」。来年は山口きらら博記念公園（阿知須）で「全国植樹祭」も開催されます。今回は、本市の森林を守り、生かす取り組みをお伝えします。

■問い合わせ 市林業振興課（☎083・934・2824）

―生命をめぐむ森林

昔、森林は人間が生きるための生活の一部であり、間伐作業や枝打ちなどの施業も活発に行われていました。今では所有者でも境界が把握できないといった事象も起こっていますが、森林は産業として林業を支えるだけでなく、国土保全や水源涵養の観点からも多様な機能を有しています。（下図参照）

―林業の現場では

樹木は数十年をかけて成長します。その間、枝打ちや間伐（木の間引き）など計画的に手入れする必要がありますが、国内では安定供給が可能な輸入木材が供給量の7割を占め、経費に見合った収入が得られない状況が続く、経営規模の縮小や従事者の高齢化など林業の現場はさまざまな課題を抱えています。

―森林を守るとは

森林を活用するとは

このような状況に対応するため、国では平成21年12月に「森林・林業再生プラン」を策定し、森林施業の集約化や人材育成を軸に効率的・安定的な林業経営の基盤作りを進めています。

本市においても、所有者や山口中央森林組合、山口阿東森林組合と協力しながら、森林施業の集約化を進めたり、木材搬出に必要な林内道路の整備を進めたりするなどコスト削減や効率化を進めています。

木を「植える」、「育てる」、「使う」という持続的循環の回復に向けて、地元木材を活用した施設整備や木質バイオマス（※）の利活用を進め、木材の付加価値を高めながら、森林資源の消費拡大に取り組んでいます。

※再生可能な生物由来の有機物資源のうち、間伐材や木くず等のこと。

■森林の多様な機能

生物多様性の維持保全機能

多様な動植物の生態系を維持します。

物質生産機能

木材資源や食糧等を生産します。

環境保全機能

温室効果ガスを吸収したり、気温の変化を和らげたりして気候を安定させます。

防災機能

樹木の根が土壌を押さえ、土砂災害や落石、雪崩を防止します。

水源涵養機能

樹木や落葉、森林土壌の働きで降水を地中に浸透させ、洪水を緩和し、水資源を貯留します。

文化創造機能

伝統文化等を育み、森林セラピーなど癒しや憩いの場にもなります。



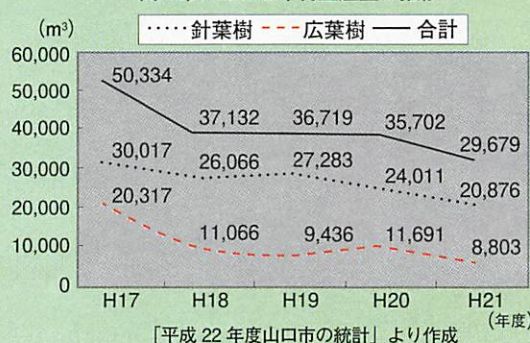
森林セラピー（徳地地域）

山口市の森林の状況は

本市の森林面積は 77,322ha。針葉樹・広葉樹などすべて含めると約2千万㎡の木が繁り、高さ16m、幹の直径が30cmの木に換算すると約4千万本の量になります。

21年度に搬出された木材は針葉樹を中心に約3万㎡。従事者の高齢化や国産木材の需要量の低迷などから、生産量は年々減少しています。

山口市における木材生産量の推移





木を活用する取り組みが進んでいます。



木とふれあう空間づくり

― 市内産木材を使用した公共施設 ―

市では、公共施設の整備にあたり市内産木材の利用拡大に努めています。

今後も、国の支援制度等を活用しながら公共施設の木造化に取り組んでいきます。



木のぬくもりがあふれる
徳佐小学校の校舎



口ハス島地温泉のヒノキ
風呂

バイオマスの利用促進

― 木質チップの活用 ―

中国電力(株)では木質チップと石炭と混ぜ合わせて発電する「木質バイオマス混焼発電」に取り組まれています。市内産木材は年間約 553t (22 年度森林組合実績) がチップに加工され、発電に活用されています。



専用機械で木材を粉碎す
様子 (宇部市)



加工された木質チップ

市内産木材利用促進事業を創設しました

本市では、市民のみなさんに地元木材に理解と関心をもっていただき、地域の木材の需要を増やし、林業に活力を呼び込むことを目的に、今年度から、市内産の木材を使って家を新築される施主の方へ補助金を交付する制度を創設しました。

〈事業の概要〉

山口市内産の木材を使用し、居住用の戸建住宅を新築・全面改築を行う施主さんへ、市内産木材の使用 1 m³につき 4 万円、最高 50 万円の補助金を交付します。要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。



制度を利用された方にお聞きしました



堀 正嗣さん(阿東徳佐在住)

3 年前に企業を定年退職後、東京から U ターンで故郷の阿東地域へ。新築中の自宅は 8 月中旬に完成予定。

地元に戻り、生活も落ち着いてきたので、以前より考えていた自宅の建て替えを山口阿東森林組合に相談したところ、この制度を紹介されました。

もともと県産木材を使用しようと考えていましたが、できればより慣れ親しんだ地元の木で家を建てたいと思い、この制度を利用することにしました。

愛着のある地元阿東産の木材が好条件で使用でき、喜んでおります。この事業のように、多くの市民のみなさんに地元木材が活用される仕組みができ、地域の活性化につながればいいですね。



建設中の堀さん宅前で

市内産木材を 100% 使用



資材提供者にお聞きしました



山口阿東森林組合
組合長 山本 秀生さん

組合では、植林や間伐等の森林整備、資材の加工販売、建築事業等を行っている。

■制度を使って地産地消を

堀さんには構造材の 100% を阿東産木材で提供することができました。地元木材は生育環境もよく、建築資材としても優れた素材です。森林組合としてもこの制度を P R して、多くのみなさんに地元木材を使用してもらいたいです。

■木材資源の有効活用に向けて

全国的にも林業を取り巻く状況は厳しいですが、効率化を図る中で関係者の意識も変えていく必要があると思います。今後は、異業種間で交流し、森林の付加価値を高め、木材の需要を増やす取り組みも進めていきたいと思ひます。



山の上層から運ばれる木材

災害に備えましょう

7月に入ると梅雨末期の集中豪雨が発生しやすくなります。また、これから秋にかけては、台風が日本に接近、上陸しやすい時期となります。日ごろから災害に対して備えをしておくことで、被害を最小限にとどめることができます。

ご家庭で、また地域でできることに取り組みましょう。

■市防災危機管理課（☎083・934・2723）

家庭でできること

【避難場所・経路の確認】
防災マップを確認しましょう

防災マップは、主要河川の氾濫や高潮による浸水想定区域、土砂災害の危険箇所や避難場所を記載したものです。家族で確認しておきましょう。



防災マップの入手方法

各地域交流センター、各総合支所の施設維持課、市防災危機管理課に置いてあります。

ていまして、各施設で入手してください。

また、市ウェブサイト（表紙参照）からも確認できます。

※山口市防災情報サイトの画面右上の「災害対策情報へ」をクリック↓「防災マップとハザードマップ」から必要なデータを手に入ってください。

【幅広い情報入手手段の確保】
防災メールに登録しましょう

気象警報、雨量・水位情報、避難勧告などの情報をメールでお知らせします。また、市ウェブサイトや携帯サイトの山口市防災情報もご利用いただき、早めの避難等にお役立てください。

○防災メールの登録方法



上記コードを読み取り、空メールを送信します。次に返信メールに従い、メール配信を希望する情報を選択します。最後に設定送信を押せば完了です。

※登録は無料ですが、通信費用は利用者の負担となります。

【災害時の準備】

非常持出袋を用意しましょう

いざというときのために、ラジオ、懐中電灯、予備の乾電池、現金、食料（非常食）、常備薬、笛、下着・靴下、タオルなどを非常持出袋にまとめておきましょう。

非常持出袋 チェックリスト

両手が入るリュックサックに入れましょう



地域でできること

【助け合いの体制づくり】

近所の状況を確認し合いましょう

ご家庭だけでなく、ご近所の方とも災害への備えについて話し合ってみませんか。自分で気付かなかったことが分かり、いざというときの声かけや助け合いのきっかけにもなります。

地域防災活動へ参加しましょう

大規模な災害が発生した場合には、建物の倒壊、道路の寸断等により、消防や救急車などの緊急車両がすぐに現地へ到着できない場合があります。このような場合、地域での助け合いである地域防災活動が、被害を最小限に抑えるために大変重要となってきます。防災研修会や防災訓練など地域防災活動へ積極的に参加し、災害に備えましょう。



佐山地区防災訓練の様子 (5月22日)

自主防災組織を設立しましょう

現在、単位自治会等による自主防災組織が次々と誕生しています。本年5月末現在の市自主防災組織認定団体数は、53団体です。認定団体は、山口市防災情報サイトの「災害対策情報へ」↓「自主防災組織」から確認できます。

自主防災組織に対する市の支援制度を、活用ください

市では、自主防災組織の活動支援として、補助金を交付しています。

・防災資機材の整備費補助：補助率3分の2、上限20万円（1回限り）

・活動費補助（訓練、研修など）：補助率3分の2、上限3万円（年1回）

※自主防災組織に関するお問い合わせは、市防災危機管理課へお問い合わせください。

介護予防に取り組んで、健康でいきいきとした毎日を送りませんか？



要介護認定を受けていない 65 歳以上の方へ

「健康自立度に関する調査票（基本チェックリスト）」の記入・提出をお願いします

■問い合わせ 市高齢・障害福祉課（☎ 083-934-2758）

介護予防のための大切な情報源

「健康自立度に関する調査票（基本チェックリスト）」を送付します

市では要介護認定を受けていない 65 歳以上の方を対象に、健康を維持していくために必要な運動機能や生活力などの心身機能の状態を確認する調査票を送付します。お手元に届いた方は、調査票を記入の上、7月14日（木）までに、同封の返信用封筒で返送してください。

調査の結果、介護予防が必要な方は「介護予防サービス」を受けることができます。介護が必要な原因となる足腰の衰えや栄養の偏りなど老化のサインを早期に発見して介護予防に取り組みましょう。

◆これが老化のサインです

- ①足腰が弱った気がする、②よく転ぶようになった
- ③15分以上続けて歩けない、④硬い物が食べづらい
- ⑤口が渇く、⑥汁物等でむせる、⑦食が偏りがちで体重が減少した、⑧物忘れが多くなった など。

◆調査票の裏面に質問事項が記載されています

この部分は数値を記入します

スタート

※番号順に該当箇所を塗りつぶしていきます
ほとんどが「はい」か「いいえ」の質問です

※質問は、本人が回答してください。

楽しく健康になれるさまざまな教室でみなさんの生活をサポートします

介護予防サービス（介護予防教室）利用の流れ

- ①市から送付された調査票を記入
※7月14日（木）までにご返送ください
- ②調査の結果、介護予防が必要と思われる方へ、市が介護予防教室をご案内します
- ③地域包括支援センターが心身の状態に合った教室へ参加できるよう支援します
- ④介護予防教室への参加

※介護予防健診は、制度改正に伴い今年度から実施していません。調査票の提出から介護予防の取り組みがスタートします。

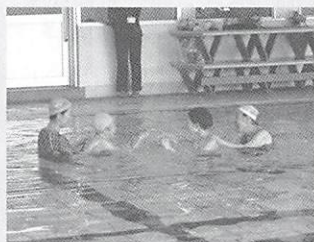
利用者の声
矢田清子さん

地域包括支援センターから教室利用を勧められたのをきっかけに参加し、おおよそ2カ月になります。この教室で習ったことを家でも取り組んでいます。体が動くことの大切さを実感しています。



【足腰機能アップ教室】

柔軟体操、バランス運動、水中運動などの生活の中で実践できる運動メニューです。



- 利用料金 1回400円
- 利用回数 週1回程度で3カ月程度の継続が目安、1回につき2時間程度

【お口の健康教室】

歯科衛生士による歯磨き、口の体操、唾液腺マッサージなどの口腔ケアの指導や相談が受けられる教室です。

- 利用料金 無料

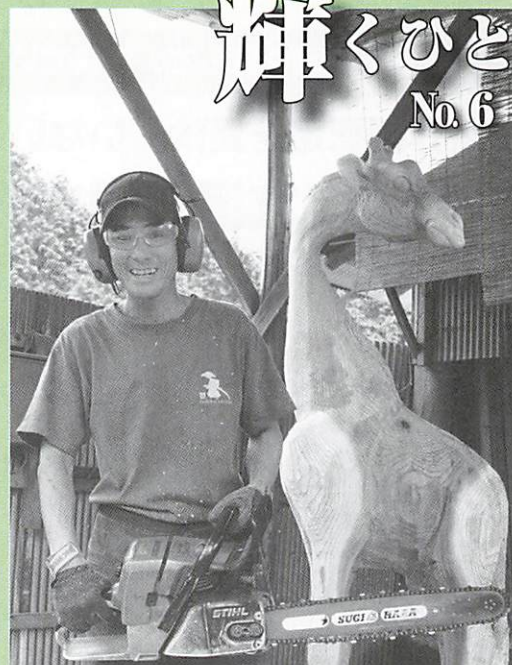
【体と脳の機能アップ教室】

ストレッチやバランストレーニングなどの個別の運動機能改善プログラムと認知症予防プログラムです。



- 利用料金 1回500円（食費は別途実費）
- 利用回数 週1回程度、1回につき4～6時間程度

輝くひと No.6



森林とともに輝く人

はやし たかお
林 隆雄さん (39)

チェーンソーを駆使し、さまざまな作品を仕上げる『チェーンソーアート』。今回は、世界を舞台に活躍される、阿東地域にお住まいのチェーンソーアーティスト 林さんを紹介しします。

■問い合わせ 市広報広聴課
(☎ 083-934-2753)

チェーンソーアートについて

チェーンソーアートとは、文字通りチェーンソー（動力式ノコギリ）を使い、丸太や木の柱などに彫刻するもので、芸術性だけでなく製作風景を見る人が楽しめる娯楽性も有しています。海外では、アメリカやヨーロッパ、カナダ、オーストラリアなど森林資源の豊富な国で盛んです。日本では、平成12年に愛知県東栄町で開催されたイベントをきっかけに広まっています。



用途に応じて歯の大きさや長さはさまざまです

材料は、森林を育てるために間伐された木や製材に向かない木も使用されるため、森林に放置されることが多かったこれらの木が活用されています。

お話を伺いました

なぜ始められたのですか？

もともと「モノ作り」が好きだったこともあり、28歳でログビルダー（ログハウスの建築家）に転職しました。30歳のとき、施工主さんから看板に飾るフクロウの製作を依頼されたことがきっかけで、本格的にチェーンソーアートに取り組み始めています。

す。また、作品の展示等を通じて環境や森林に対する理解を深める機会の提供手段の1つとしても期待されています。



森林の中で眠っていた資源が芸術作品に生まれ変わります（林さんの工房で撮影）

魅力は何ですか？

絵や写真を参考に、ただの丸太をどんな立体的な形に仕上げていく面白さと難しさに魅せられ、この世界に引き込まれていきました。



各種イベントでも活躍

どのくらい製作されますか？

依頼を受けての作品に加え、練習も含めると年間300体くらい製作しています。地元には、間伐した樹齢50〜60年の杉が多くあり、これらを市場や山で仕事をされている方に頼んで入手しています。

どんな大会に出られるのですか？

今年はUSオープンという大会に招待されていて、8月に渡米します。帰国したら、北海道で初めて開催される巨木を使った大会にも招待されているので、そちらにも出る予定です。

どこに作品を展示していますか？

地元の道の駅「長門峡」には、たく

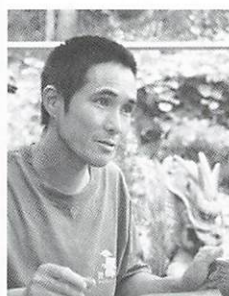
編集後記

さらなる創作環境を求めて防府市から阿東へ引っ越された林さん。常に感謝の気持ちを大切にされる方だと感じました。行事への積極的な参加など、忙しい毎日を送られる中で、すっかり地域にも溶け込まれ、周囲の方々も林さんの活動を理解し、応援されています。こんなすてきな環境も、木の香りや自然が生み出す効果なのでしょうか。そんな林さんの人柄は、ご自身のブログ「ログ鷹日記」でも垣間見ることができます。一度、ご覧ください。



林さんメモ

すごく温厚な方ですが、昨年の国際大会では6種類のチェーンソーのみを駆使し、4部門すべてで1位を獲得、日本人初の総合優勝を飾った方です。



作品を彫り、生き生きとした動きを表現できたらと思っています。

将来の夢は？

続けて行く限り「アーティスト」と呼ばれたり紹介されたりすることは気が引けますが、多くの人に楽しんでもらえる作品を作ることが夢です。始めたばかりですが、今後多くさんの

森林を守っているという認識は？

自分は、好きなことを探求しているだけなので、そんな風に考えたことはなかったです。自分が杉の丸太を使っ

て創作活動が続けることで、少しでも木に興味を持ってもらえるのならうれしいです。

市観光まちづくりプランの提案募集

採用プランには、

山口市の
特産品
(5,000 円相当)

贈呈

とっておきのアイデアをご提案ください！！

市民のみなさんの視点から、観光素材を発掘したり、磨きをかけたりして、地域の活性化につながる旅行プランや体験交流プログラムを募集します。
みなさんのアイデアで、山口市の観光をこれまで以上に盛り上げていきましょう。



Q&A

Q 誰が応募できるの？

A 市内在住・在勤・在学の方や市内に活動拠点のある企業・団体・グループならどなたでも応募できます。

Q 募集テーマは何ですか？

A 山口の自然、歴史、文化や特産品などの地域資源の魅力を生かし、地域の活性化や観光振興につながる内容のものとお願いします。

【例】

- ・地域が主体となった体験交流型の観光プログラム
- ・地域の伝統芸能・工芸等の鑑賞・見学プログラム

Q どのような人が審査するの？

A 観光関連事業者、市職員などで組織された「山口市観光産業活性化委員会」により審査を行います。
なお、採用された提案は、市ウェブサイト等で公表(12月)します。

Q 採用されたら何か特典はあるの？

A 賞状と、副賞を授与します。副賞は、山口市の特産品(5,000円相当)です。

前回の提案について(状況報告)

前回は、22点の応募があり、6点が採用されました。採用されたプランを参考にしながら、今年度中に、具体的な旅行商品を開発していきます。



【前回採用された提案】

- 1 春・夏・秋・冬 収穫及び温泉の喜び体験観光
農協や漁協、旅館等と協力し、一年間を通して温泉と農山漁業等の収穫体験と連携させるプラン
- 2 ホタルと湯の散歩
山口市では、各地域によってホタルを見ることのできる時期が少しずつ異なるため、長い期間見ることができるといった特徴を生かし、期間中、温泉とホタルを結びつけるプラン

など他4点

応募方法

市ウェブサイトや市観光課で配布する応募様式に提案を記入の上、郵送・FAX・Eメールで、8月1日(月)(当日消印有効)までに、市観光課に提出してください。

■提出先・問い合わせ

〒753-8650 亀山町2-1
市観光課(山口総合支所2階)
☎083-934-2810 ㊟083-934-2649
✉kanko@city.yamaguchi.lg.jp

市政トピックス

「市防災会議」の開催および「市防災検証訓練」の実施

市では、市民生活のさらなる安心・安全の確保に向け、防災会議を開催し、地域防災計画の見直しを行っている。また、災害発生時など緊急時に迅速かつ的確に行動できるよう、防災訓練を実施しています。

【平成23年度市防災会議】

5月25日、山口総合支所で市防災会議を開催しました。

この会議は、連携して災害に対応できるよう、市の各部署、消防をはじめ、自衛隊、警察、下関地方気象台、中国電力、NTT西日本などの関係機関で構成されています。

当日は、昨年度の気象状況や災害時対応を確認した後、地域防災計画の見直しとして、

災害対策本部など職員配備体制の強化、臨時ヘリポートの追加などの修正・補完が了承されました。



三浦教授による講演



関係機関に協力を依頼する市長

大震災の発生を受け、本市において想定される地震について、三浦房紀氏（山口大学大学院教授）に講演いただき、影響が想定される東南海・南海地震、安芸・伊予灘地震等についての説明や、行政機能の低下を防ぐための事業継続計画の必要性などについて助言を受けました。

【市防災検証訓練】

6月1日、山口総合支所で防災検証訓練を行いました。

今回の訓練では、梅雨時期を迎え、平成21年7月の中国・九州北部豪雨の状況を再確認するとともに、東日本大震災の状況も踏まえ、災害への備えや今後の取り組みについて協議する災害対策本部会議と、庁内における情報伝達訓練を行いました。



災害を想定した情報伝達訓練

災害対策本部

会議では、被害を最小限に止めるための災害予防や応急対策、発生後の復旧復興に関する各種検討事項について各部署から意見が出されました。災害対策本部長である市長は「東日本大震災を受け、地域防災計画を見直すこととしている。大災害発生時にどういった対応が必要になってくるのか、私たちは真摯に学び、市民生活を守るため、どのような対策を講じていくべきかを考え、組織横断的に取り組んでいく必要がある」と述べました。

市防災危機管理課

(083-934-2723)



課題検討が行われた本部会議



おめでとうございます！ 石川佳純選手 ロンドン五輪出場決定

5月16日、本市出身の石川佳純選手（IMG所属）が、国際卓球連盟より世界ランキング女子8位に認定されたことから、来年夏のロンドン五輪出場権を獲得されました。さらに、5月27日には「おいでませ！山口国体」の県代表選手として出場することも決定しました。

石川選手は小学校卒業まで山口市で過ごされており、地元の平川地域においても、地域交流センターに五輪出場を祝福するメッセージボードが掲示され、喜びにわいています。

本市出身の石川選手が、国内にとどまらず、世界を舞台に活躍されることは大変頼もしく、市民の誇りでもあります。今後は、石川選手を目標に、本市から世界を舞台に活躍する選手が続くことを期待し、本市のスポーツ振興に取り組んでいきます。

市生涯学習・スポーツ振興課 (083-934-2912)



第51回世界卓球選手権（5月）の様子

7/30
(土)

山口宇部道路開通記念イベント

『ヘルシーウォーキング山口宇部道路コース』参加者募集

◆問い合わせ 市生涯学習・スポーツ振興課

(山口総合支所 ☎ 083-934-2874 FAX 083-934-2665 ✉ s-sinko@city.yamaguchi.lg.jp)

7月31日に開通する嘉川↔朝田間を結ぶ地域高規格道路 山口宇部道路をウォーキングして新しい発見をしてみませんか。自動車専用道路をウォーキングできるまたとないチャンスです。ぜひご参加ください。

コース	内容・距離	時間・集合場所 (40分前から受け付け)
A 朝田コース	朝田 IC～長谷 IC (約8.3km)	9時50分～13時30分/朝田 IC ※帰りは集合場所までバスを準備します。
B 長谷コース	長谷 IC～嘉川 IC～長谷 IC (約10km)	10時10分～14時20分/長谷 IC
C 嘉川コース	嘉川 IC～長谷 IC～嘉川 IC (約10km)	10時20分～14時30分/嘉川 IC ※道路内に駐車。車でお入りください。

■定員 各コース200人 (先着順 無料)

※中学生以下は要保護者同伴

■持参品 飲み物、昼食

■申込方法 7月15日(金・必着)までに、郵送、FAX、Eメールで、〒住所、氏名、年齢、電話番号、希望コース(A・B・C)、駐車場利用の有無、「ヘルシーウォーキング山口宇部道路コース」を明記の上、市生涯学習・スポーツ振興課

※参加者には、後日参加通知書、駐車場の詳細図を送付



開通を待つ
山口宇部道路



自転車で行ってみたい方はこちら

同日に県自転車競技連盟主催のロードレース、サイクリングイベントも開催されます。詳しい内容は、県自転車競技連盟ウェブサイト(「山口県自転車競技連盟」で検索)

◆問い合わせ 県自転車競技連盟 (☎ 090-5374-8498 ✉ yamaguchi98_cf@yahoo.co.jp)



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

植物進化と恐竜展

■日時 7月17日(日)～8月21日(日) 10時～17時

■場所 ときわミュージアム本館(ときわ公園内)

■内容

▽恐竜に関するもの

…骨格標本(全身、頭骨、下顎など) パネル展示など

▽植物に関するもの

…植物の化石、食虫植物、シダ植物 パネル展示など

■料金 一般…500円/中学生以下…300円/3歳以下…無料

※期間中、何度でも入場できるパスポート券も販売します。一般…1,000円/中学生以下…600円

※1歳～中学生の入場者には、常盤遊園地乗り物無料招待券もプレゼントします。

■問い合わせ ときわミュージアム (☎ 0836-37-2888)

防府市

2011 防府まつり

【港まつり】

■期日 7月23日(土)

■場所 防府市中関港2号・3号岸壁

■内容 カッターレース大会(8時30分から)、子供カッター漕ぎ講習会、子供スケッチ大会

【防府まつり総おどり大会】

■期日 7月30日(土)

■場所 防府駅周辺(天神ピア～駅通り 商店街～駅前ロータリー)

■内容 よさこいフェスタ(10時から) 総おどり大会(17時30分ごろから)

【御誕辰祭 防府天満宮】

ろうそくの明かりが幻想的に広がり、あなたを天満宮へと導きます。

■期日 8月3日(水)～5日(金)

■場所 防府天満宮

■内容 万灯の夕べ(期間中の19時から)、花火大会(5日のみ20時30分から)

■問い合わせ 防府まつり実行委員会事務局 (☎ 0835-25-2148)



市内の魅力を紹介します。

山口市

～ご家族でお楽しみください～

SL「やまぐち」号と並走ドライブ

SL「やまぐち」号は新山口駅(小郡)から島根県の津和野駅までの62.9kmを約2時間かけて走ります。おすすめの見物場所は国道9号線沿の道の駅「長門峡」で、12時ごろに津和野、16時ごろに山口に向け通過します。また、道の駅等で入手できる朝市マップを片手に、周辺の朝市やお店をめぐるつもりませんか?

■…SL運行日(土・日・祝日)に営業する朝市等



SL「やまぐち」号
10:47 新山口駅発
15:20 津和野駅発
詳しくは JR 西日本へ

■問い合わせ SL…市観光課 (☎ 083-934-2810)、朝市マップ…市農業振興課 (☎ 083-934-2817)

休日当番医の変更（7月 吉南医師会）

■変更内容 山口アレルギー呼吸器病センター 10日→24日、たむら医院 24日→10日、24日外科系→小林哲朗診療所（小郡平成町 ☎ 083-973-3310）
■問い合わせ 市健康増進課（☎ 083-921-2666）

国民健康保険証を 更新します

8月1日から使用できる山口市国民健康保険証（個人ごとのカード式）を、7月下旬ごろ世帯主あてに郵送します。手続きは不要です。

更新後の保険証は、一般被保険者証が青色、退職被保険者証がオレンジ色となっています。

☎ 市保険年金課
（☎ 0833・9334・2800）

7月は「社会を明るく する運動」強調月間

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を防止し、罪を犯した人たちの更生に理解を求め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

今年の強調月間の重点事項は、「立ち直りを支える取組についての理解促進」

進「犯罪や非行をした人たちの就労・住居等の生活基盤づくり」です。

強調月間中、市内で行われる街頭啓発や募金活動などへの、みなさんのご理解とご協力、ご参加をお願いします。

開始日時		内容（場所）
1日（金）	7:00	街頭啓発（新山口駅北口ほか3カ所）
	10:00	街頭啓発（アルク、ザ・ビッグ、マリン各小郡店）
	10:00	青少年健全育成市民会議徳地支部講演会、啓発パレード（市徳地山村開発センター～徳地総合支所）
	13:30	街頭啓発パレード（亀山公園～中心商店街）
2日（土）	10:00	街頭啓発（サンマート秋穂店前）
4日（月）	10:30	街頭啓発（サンパークあじす、道の駅「きららあじす」）
11日（月）	9:30	広報活動（阿東地域）

☎ 市社会課（☎ 0833・9334・

● 山口総合支所	〒753・8650	亀山町2・1	☎ 0833・922・4111
● 小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609・1	☎ 0833・973・2411
● 秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	☎ 0833・984・2121
● 阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	☎ 0836・65・4111
● 徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	☎ 0835・52・1112
● 阿東総合支所	〒759・1512	阿東徳佐中3417・2	☎ 0833・956・0111

夏休み期間中

本に親しんでみませんか

子どもにとって、夏休みは本に接する絶好の機会です。

各図書館では、本と触れ合うことのできる企画を定期的に開催しています。本が貸出中のときは、窓口での予約をはじめ、事前の登録によりインターネットでも予約できます。詳細は、お問い合わせください。

また、中央図書館ではこの時期、小学校の読書感想文の課題図書をごどもカウンターに展示しています。

普段、利用しない方も、夏休み期間中に図書館を利用し、じっくり本と向き合ってみませんか。

図書館キャラクター「ボンビー」

き合ってみませんか。

☎ 各図書館▽中央（☎ 0833・901・1040）、▽小郡（☎ 0833・973・0098）、▽秋穂（☎ 0833・984・0065）、▽阿知須（☎ 0836・66・0001）、▽徳地（☎ 0835・52・0043）、▽阿東（☎ 0833・956・0785）	
--	--

発掘報告書「大内氏館跡12」を販売

国の史跡 大内氏館跡の中心部などで行われた発掘調査の報告書「大内氏館跡12」を販売します。龍福寺本堂地下の調査成果などを収録しています。

■価格 2400円

■販売場所 市歴史民俗資料館

※郵送による注文もできます。詳細は、お問い合わせください。

☎ 市歴史民俗資料館（〒753・0073 春日町5・1 ☎ 0833・924・7000）

夏の交通安全県民運動「住みよい山口 いつも心に 交通安全」

■期間 7月11日(月)～20日(水)【重点目標】子どもと高齢者の交通事故防止／全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底／自転車の安全利用の推進 ■問い合わせ 市生活安全課 (☎083-934-2765)

ドレスデン・フィル管弦楽団 演奏会チケットの払い戻し

当初、6月24日(金)に市民会館で予定され、東日本大震災の影響により中止となった「山口市民会館開館40周年記念演奏会ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」のチケットについて、代金を左記の期間払い戻ししています。

購入方法により、手続きが異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

■払い戻し期間 7月10日(日)まで

※期間後の払い戻しはできません。

☎市民会館チケット払い戻し担当

(☎0833-9223-1004)

日本脳炎の定期予防接種を受けましょう

日本脳炎の予防接種後に、重い病気になった事例が過去にあったことをきっかけに、平成17年度から平成21年度まで、日本脳炎の予防接種の積極的勧奨を行っていませんでした。

この度、制度改正があり、平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれの方は、20歳未満の間に1期および2期の定期の未接種分について、接種ができるようになりました。

詳しくは、お問い合わせください。

☎市保健センター

献血にご協力ください

7月は「愛の献血助け合い運動」強化月間です。みなさんのご協力をお願いします。

■日時 7月10日(日)10時～16時30分

■場所 ゆめタウン山口(大内御堀1302-1)

☎市保健センター

(☎0833-9221-2969)

食育講座「親子で 誕生日ケーキ作り」

家族の誕生日を祝う「誕生日ケーキ」の作り方を学びます。親子で楽しく一緒に作ってみませんか。

■日時 7月23日(土)13時から

■場所 山口県総合保健会館(吉敷下東三丁目1-1)

■講師 本田誠氏(モンロー洋菓子店オーナー)

■対象 小中学生と保護者15組(先着順)

■申込 7月13日(水)までに、ハガキに住所、氏名、学年、電話番号を明記の上、あんずの里阿東老人ホーム波多野苑(〒759

・1342阿東生雲中3000 ☎0833-954-0120)

833-954-0120)

833-954-0120)

833-954-0120)

833-954-0120)

833-954-0120)

833-954-0120)

833-954-0120)

不要になった「こいのぼり」のご提供を

仁保地域の仁保川では、毎年各家庭から提供していただいたこいのぼり約100匹を掲げており、多くの観光客が訪れています。

そのこいのぼりの一部が、長年の使用により破れたり、色あせたりして使えなくなったため、各家庭で不要になったこいのぼりを、ぜひご提供ください。

☎仁保地域交流センター

(☎0833-929-0105)

山口南総合センター 「武士の家計簿」上映会

映画を見ながら、幕末の歴史や下級武士の暮らしぶりを学んでみませんか。山口市出身の兵学者 大村益次郎もちよつと登場します。

■日時 7月18日(月・祝)1回目：10時30分から／2回目：14時から

※上映時間129分

■料金 前売：一般800円／当日：1000円、高校生以下500円

■チケット取り扱い 山口南総合センター、市民会館、山口情報芸術センター

■所 山口南総合センター(名田島1218-1 ☎0833-972-8333)

8333)

8333)

8333)

8333)

8333)

8333)

テックポット Leopold「学べて創れる メディア工房」

「創る」を楽しむ環境と「創る力」を育む6つの講習を受講することができます。創作工房「Leopold」を開設します。

専門の講師がサポートし、初心者でも興味や目的に合わせて「コンピュータ」を活用した創作活動、応用方法、メディア表現を楽しめます。(無料要申込)

■期間 7月2日(土)～9月25日(日)の間の土・日・祝日のうち16日間

■時間 13時～19時(講習時間は自由に選択可能)

※講習により対象年齢、所要時間が異なります。詳細は、お問い合わせください。

■コース A：映像／B：サウンド／C：プログラミング／D：デザイン／E：電子工作／F：モジュール

■対象 小学生以上

※小学1～3年生は要保護者同伴

☎利用希望日の1週間前までに、ハガキ、FAX、Eメールで、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、Eメールアドレス等の連絡先、参加希望コース名を明記し、山口情報芸術センターLeopold係(〒753-0075中園町7-7 ☎0833-901-2222 FAX 0833-901-2210

901-2210

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

workshop11@ycam.jp)

GO!2011

おいでませ!山口国体
おいでませ!山口大会



ちよるる通信

■問い合わせ 市国体推進局総務企画課 (市実行委員会事務局 ☎ 083-984-8121)

□ http://www.choruru.net/ □ kokutai@city.yamaguchi.lg.jp

□記事に関するご意見・ご要望をぜひお寄せください。

「ちよるる」です。今月は、山口の味を開発する取り組みや、陸上競技を紹介します。

それぞれの立場から 意気込みを語っていただきました



3年生

山口といえば「緑」です

自分たちで材料の分量を決めたりして、一つのお菓子を作り上げることは楽しいです。豊かな自然に囲まれた山口のイメージを、色で上手にPRできたらと思います。



2年生

見ただけでちよるるな鍋を

だしが重要なので、何度も作り変えています。また、現在の悩みは「ちよるる」をどうやって表現するかです。食べた人に「おいしい」と言ってもらえるよう一生懸命頑張ります!



先生

調理科主任 久保田幸代先生

新商品を開発することはすごく難しいことですが、この経験を糧に成長して欲しいです。また、この機会に山口の食材の豊富さを再認識し、食の面から山口を全国にPRできる人材になって欲しいと思っています。選手、関係者の皆様に山口の味を楽しんでもらい、味を思い出にできるよう、準備を進めていきます。



先生

2年生担当
喜志多依子先生

先生も真剣です
頑張る生徒を応援するため、指導後も各方面を奔走されています。



学生の将来を考え、地域貢献の大切さを力説

山口の味として、はなつくりを使った和洋2種のお菓子を考えました。特有の香りと色味、食感や風味の出し方に苦労しましたが、満足いく仕上がりました。この機会に学生には、調理師として必要な技術だけでなく、「お客様をもてなす」大切な心を培ってほしいです。地域に貢献することの大切さや喜びを学生のうちに肌で感じることは、将来お店を出した時など、必ず役立つと信じています。

ひとこと 成田智子先生

中村女子高校では、3年生が「焼き菓子」、2年生が「ちよるる鍋」をバレーボール成年男子競技会場のやまぐちリフレッシュパークで振る舞います。5月7日に実施した試食会の意見をもとに、試行錯誤を重ね、本番に向けて夜遅くまで準備を進めています。

小野茶入りクッキー、ごま入りカップケーキを振る舞う予定の3年生は、クッキーの改善点を協議していました。今後は味や食感など、全体のバランスを考慮しつつ、練り込むお茶の量を加減し、イメージを具現化する繊細な作業に取り組めます。



ヒントを探します

徳地味噌をベースにニンジンでちよるるのオレンジ色を表現しただしが完成に近づいています。今後、具材の見直しによる山口らしさの表現などに取り組んでいきます。



この日は米粉で金太郎飴風のちよるる団子を試作

焼き菓子とちよるる鍋で
お迎えしよう!

「3年生の取り組み」

「2年生の取り組み」



山口の味ではなつくり

全国から訪れる選手や関係者への「おもてなし」の一環として、山口の特産品を使った料理やお菓子を競技会場で味わってもらおうという取り組みを紹介しました。会期前開催までいよいよ2カ月余り、さまざまな形で市民の皆様による選手を迎える準備が進んでいます。詳細は、市実行委員会ウェブサイトをご覧ください。

パウンドケーキ、まんじゅう
で山口らしさを!

山口調理製菓専門学校では、はなつくりパウンドケーキを用いたパウンドケーキとまんじゅうを開発し、ホッケー競技会場(山口きらら博記念公園多目的ドーム)とバレーボール成年女子競技会場(小郡体育館)で選手に振る舞います。

競技概要



陸上競技は、トラック競技（走る競技）とフィールド競技（投げる・跳ぶ競技）に大きく分けられます。

トラック競技には、短距離走、中・長距離走、ハードル、リレー、競歩があります。スタート前の表情やレース中の駆け引き、ゴール直前の激しい競り合い等が見どころです。

フィールド競技は、跳躍種目と投てき種目に分けられます。

跳躍種目は、走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳があり、投てき種目は砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投があります。

投てき種目は、男女や少年成年種別により、重さや大きさが異なります。

← 自転車ほぼ 4 台 →



一步で跳ぶ方を紹介します



おかやま まさこ
岡山沙英子さん (29)
(山口 TFC 所属)

広島県出身。高校 2 年の国体では 100m・走幅跳で 2 冠。その後、両足の疲労骨折など、度重なる故障に苦しむも、見事に復活。昨年の千葉国体 走幅跳で優勝。今期は、参考記録ながら日本歴代 4 位に相当する 6m61cm をマーク。アスリートとしてはベテランの域での快進撃の秘密を語っていただきました。

陸上競技を始めたきっかけ

小・中学校はバスケットボールの選手でした。最優秀選手に選ばれるなど活躍もしていましたが、東京五輪の走幅跳に出場した母や姉の影響で高校から本格的に走幅跳に取り組みはじめました。

競技を続けてきて得たもの・気づいたこと



90kg

精神が強くなりました。現在は 1 つの目標だけに集中することが難しい世の中ですが、あきらめなかった人間のみがたどり着ける場所が必ずあります。私も故障で何年も記録が出ない時期がありました。その間に自分の体を知り、他人のア

ドバイスの意味を知り、仲間や周囲の方々の支えを知りました。私の場合は故障を理由に逃げたくなかったという部分が大きいのですが、うまくいかない時期は、さらなる飛躍の準備段階なのだと、今なら素直に思えます。

どんな分野でも良いときもあれば悪いときもあり、山あり谷ありですが、何事もあきらめないことが大事です。みなさん、希望を持ってやって欲しいです。谷のときにも成功した自分をイメージして頑張りましょう。

今後の目標

世界選手権、オリンピックの標準記録 (6m65cm) を突破したいです。また、来年までには日本記録 (6m86cm) も更新したいです。もちろん、国体の連覇も狙います。みなさんの応援をよろしくお願いします。



大記録は紙一重で生まれます

助走距離は約 40m。目を閉じて走っても踏切板での誤差は数センチだそうです。助走スピード、踏み切り位置、跳び上がる角度、風、声援などさまざまな要素がうまくかみ合ったとき、大記録は誕生します。

最近の岡山さんは、安定して 6m50cm 前後を記録、100m も自己記録を更新するなど調整は順調です。ぜひ、みなさんも応援に行きましょう！

「おいでませ！山口国体・山口大会」

開催直前山口市総決起集会

～寛平さんに元気をもらって、山口国体ガンバロー！～

両大会の開催に向け、市民のみなさんとともに成功への一体感を高めるため、前人未踏のアースマラソンを成功させた間 寛平さんから元気をもらいます。

■日時 8 月 7 日 (日) 13 時～16 時

■場所 山口南総合センター
(名田島 1218-1)

【第 1 部】決起大会

【第 2 部】間寛平講演会

「アースマラソンの裏側
すべて話します」

【同時開催】・ちよるるダンスステージ

・国体関連展示コーナー

・ちよるるグッズ販売コーナー

・頑張れ山口！寄せ書きコーナー ほか



間 寛平さん

定員 450 人 (抽選) 参加費無料

参加者を募集します

締切
7/15



■申込方法 (1 回の申し込みで 4 人まで応募可能)

①官製ハガキまたは FAX による応募

官製ハガキまたは地域交流センター等に備え付けの申込用紙に代表者の〒住所、氏名 (フリガナ)、連絡先、同伴者氏名を記入の上、おいでませ！山口国体山口市総決起集会事務局 (〒753-0075 中園町 7-40 FAX 083-934-8230) ※ハガキは当日消印有効

②ウェブサイトからの応募

市実行委員会ウェブサイトのトップページにある「山口市総決起集会」のバナーをクリックし、応募フォームから応募。

□ <http://www.choruru.net/>

③携帯電話による応募

右記のコードからアクセスし応募。



イベントカレンダー

7.8月

※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日
(曜日)

イベント名(開催地域)
問い合わせ先(電話番号)

平川典俊新作インスタレーション
「Beyond the sunbeam
through trees - 木漏れ日
の向こうに」(～8月21日)

安藤洋子新作
「Reacting Space for
Dividual Behavior」
(～8月21日) (白石)
山口情報芸術センター
(☎ 083-901-2222)

企画展「宮嶋康彦-中原中也に
訣別 白と黒の振幅の果てに」
(～8月28日) (湯田)
中原中也記念館
(☎ 083-932-6430)

山口祇園祭 御神幸 (山口)
振興会 (☎ 083-922-0083)



20
(水)

24
(日)

山口祇園祭 山口市民総踊り
「やまぐち MINAKOI (みなこい)
のんた」 (山口)
実行委員会 (☎ 083-932-3456)

ゆうすげ祭り (阿東)
あとう観光協会
(☎ 083-956-2526)

27
(水)

山口祇園祭 御還幸 (山口)
振興会 (☎ 083-922-0083)

30
(土)

夏の元気がでるっちゃフェスタ
(～31日)
(仁保・小鯖・宮野・徳地・阿東)
山口農林事務所
(☎ 083-922-5291)

第33回ふしの夏まつり(小郡)
実行委員会 (☎ 083-976-8588)

31
(日)

嘉年かし祭り
(～8月31日) (阿東)
阿東地域交流センター
嘉年分館 (☎ 083-958-0111)



道の駅まつり (阿東)
道の駅「長門峡」
(☎ 083-955-0777)

8/6
(土)

山口セタちゃんまつり
(～7日) (山口)
実行委員会 (☎ 083-932-3456)



おいでませ！山口国体リハーサル大会

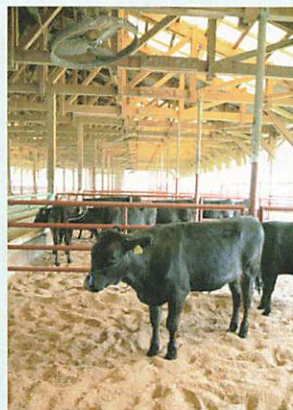
5月にオープンしたばかりの「山口きらら博記念公園水泳プール」で繰り広げられる熱戦を、ぜひご覧ください。



期 間	競技名	大会名	場 所
7月22日(金)～ 24日(日)	競泳	中国高等学校選手権水泳競技大会	山口きらら 博記念公園 水泳プール
7月25日(月)～ 27日(水)	水球	中国高等学校選手権水泳競技大会	
7月30日(土)～ 31日(日) ※30日は観覧不可	シンクロ	全国JOCジュニアオリンピック カップ夏季水泳競技大会シンクロナ イズドスイミング競技中国・四国ブ ロック予選会	

■問い合わせ 市国体推進局 (☎ 083-984-8121)

表紙写真から
地域のブランドを守る
「あとう和牛」 肥育再開



公開された牛舎の様子

表紙の写真は、6月14日に事業を開始し、15日に公開された、肉牛の肥育施設「あとう和牛振興センター」(阿東徳佐下)の素牛の様子です。
「あとう和牛振興センター」は、昨年末に閉鎖された阿東肥育センターでの肥育事業を、地元の特産「あとう和牛」のブランドを守るうと(社)ふるさと振興公社(田中祥隆理事長)が再開するものです。
田中理事長は「ブランドを守るだけでなく、堆肥などの資源の循環にも目を向けており、今後は飼料の地域内調達などにも取り組んでいく」と述べています。

この日導入された生後約9カ月の12頭の素牛は、平均体重約290kgで、これから約20カ月間かけて約750kgにまで成長させ、出荷されます。今年度は計56頭の導入を目指しています。

■問い合わせ 市阿東農林振興事務所
(☎ 083-936-0984)

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら、「新聞紙」として
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 7月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-934-2753 / 印刷 株式会社マルニ